

## ナイジェリア

企業訪問調査レポート【3】

## Vogue Aso-oke (Vogue)

～ 織物・縫製業 ～

## ■ ナイジェリア連邦共和国 — 基礎データ —

- 面積：92万3,769平方キロメートル
- 人口：約1億6,928万人（2013年 推計値/出所:IMF）
- 首都：アブジャ（1991年12月ラゴスより遷都）
- 名目GDP総額：5,730億 6,500万ドル（2014年 推定値）
- 1人当たりの名目GDP：3,298ドル（2014年 推定値）
- 実質GDP成長率：6.31%（2014年 推定値）
- 為替レート：1ドル ≒ 158.55 ナイジェリア ナイラ（2014年 平均値）

出所：JETROホームページ「ナイジェリアの基本情報・概況（2015年12月更新）」  
[https://www.jetro.go.jp/world/africa/ng/basic\\_01.html](https://www.jetro.go.jp/world/africa/ng/basic_01.html)



■ 調査日：2014年 10月9日

■ 分野：織物・縫製業

■ 特徴：伝統を生かしつつ現代の織り技術とデザインを加味した製品を生産し、その斬新さと優雅さで年配の消費者はもとより、若年層まで幅広い顧客を引き付けている。

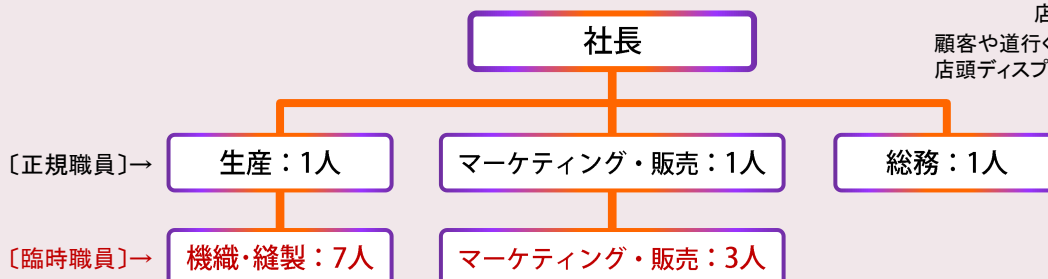
## 企業概要

- 社名：Vogue Aso-oke (Vogue)
- 住所：No.11, Amore Street, Toyin Street, Ikeja, Lagos, Nigeria
- SNS：  
<https://www.facebook.com/pages/Vogue-aso-oke/128839683826278>  
<https://www.instagram.com/vogueasooke/>
- 設立年：2009年
- 従業員数：〔正規職員〕3人 〔臨時職員〕10人 程度
- 社是：民族衣装でトレンドリーなファッションを



店舗の外観  
顧客や道行く人の目に付きやすい  
店頭ディスプレイが施されている。

## 組織図



## ナイジェリアの伝統織物 “Aso-oke”

“Aso-oke”（アーシャウ・オーケイ）とは、ナイジェリアのヨルバ族による伝統的な手織物であり、その文化と地域、特にナイジェリアの南西地方に深く根差したものである。10世紀と12世紀にヨルバ族の間で織物が使われた痕跡が、当時の彫刻に残っている。

織物の原材料として、現地産の綿や絹、木皮、山羊毛、ラフィア椰子の繊維等、多種多様な素材が使われている。



職工頭が完成品を広げている様子  
(1950年オグン州メコにて)

写真出所: nairaland.com

### Aso-okeの種類と製法

Aso-okeは、織り糸を長く引き伸ばして作業するため(右写真参照)、広いスペースの取れる屋外で主に行われる。

Aso-oke生地から作られる製品は頭に巻く布や腰巻布で、通常それらはセットになっている。

最近になり、Aso-okeは様々な種類の製品が作られるようになってきたが、基本的には、

- **etu** : ホロホロチョウの意。藍で染めた濃紺の織物
- **sanyan**: 蜂巢状に集合した繭を作る蛾の繭からとった絹糸で織ったベージュ色の布
- **alaari** : 唐紅で染めた明るい赤紫色の絹糸で織った布

の3種類である。

Aso-okeは、元々伝統儀式の際の衣装として用いられてきたもので、儀式の種類ごとに模様異なる。伝統的なAso-okeは、模様を横糸(緯糸)で表す緯錦(よこにしき)の技法によって、それぞれの儀式ごとに決められている模様を織り出している。

価格は、使われている素材の質によって異なるが、頭に巻く布と腰巻のセットで、概ね5,000ナイラ以下である。



機織りの様子



Aso-okeを使ったファッション

# ビジネスの概要 ①

## 主な製品

Vogueの製品は大きく分けて、

● Aso-oke生地による衣装 ● ビーズネックレス(元来は魔よけの数珠) ● ブーケ ● 扇 の4種類。



Aso-oke生地



ビーズネックレス



ブーケ



扇

## Vogueが生産するAso-oke生地の種類



Normal-Net



Metallic-Net



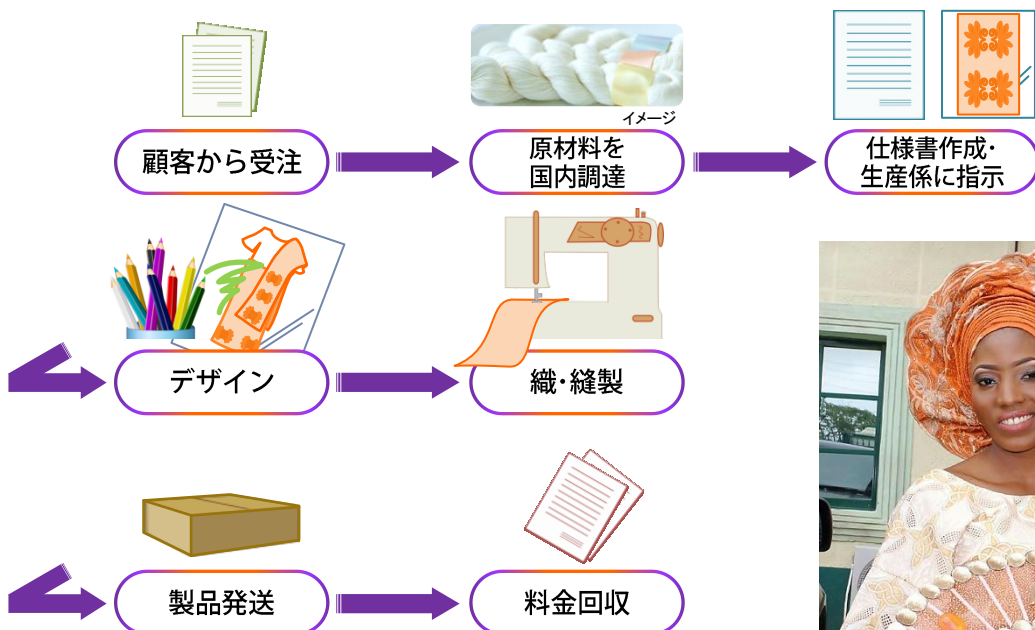
綿織物



Super-Net

レースのような外見と肌触りの新郎新婦用衣装や、その他各種儀式向けとして伝統的なEtu、Sanyan、Alarilに新たな織り技法を加え、二重織り、normal net、metallic-net、super-netなど多様な織り製品を手掛けている。また、注文あつらえにも応じている。

## 注文あつらえのプロセス



JETRO

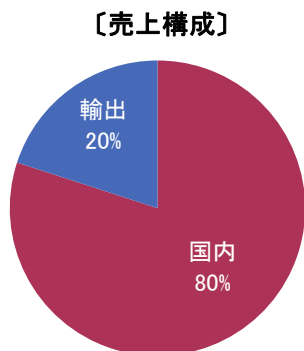
## ビジネスの概要 ②

### 売上構成と流通経路

売り上げの80%は国内向けで、残り20%が海外へ輸出となっている。輸出は主に、英国に居住するナイジェリア人向け。

国内は、本店・支店を通じた直接販売、および注文販売。ショールームに既製品を陳列し販売しているが、売り上げのほとんどは注文あつらえによる。

● 店内のショールームには既製品のAso-oke製品が陳列されている。



Hand-Cut Buba(ブラウス)



Silk Wrapper(スカート)

### マーケティング：広告・宣伝

オンライン広告、関連展示会出展、訪問販促、関係企業の紹介状、主要雑誌への広告掲載や、各種SNS (Facebook、Instagram)を利用している。

### 競合他社



● Amok



● Heritage



● needles



### 社会貢献活動

ビーズ作り講座を開催している。



イメージ

JETRO

Copyright (C) 2015 JETRO. All rights reserved.

### Aso-okeを取り巻く環境

昨今、西洋風の服装が一般的となり、機械織り生地を使った古着が数多く出回っている。

伝統衣装においても、アジアから機械織りのコピー商品が流入し、価格も安いことから、多くの人々が伝統儀式の際などの服装として用いている。これらナイジェリアの伝統衣装をコピーした商品は、時としてナイジェリア国内製と偽って販売されている。

こうした状況から、国内の機織職人や染色職人、関連メーカーは危機に立たされており、Aso-oke製品の生産拡大や、より現代にマッチしたデザイン開発と品質の向上を図る等の手立てを講じる余裕が持てない。加えて、機械織企業においてAso-okeの伝統的な図柄を手織りではなく、プリント加工で施した製品が市場で一般的となっており、工場の大量生産品に消費者需要がシフトする動きをさらに強めるとともに、Aso-oke生産に従事する職人の意欲を削ぐ結果となっている。

しかしながら、もしAso-okeメーカーが、もう少し薄手で儀式などのフォーマル用にも普段の現代的な生活にもマッチした製品を開発し、若い世代の心を捉えることができれば、手織りAso-okeが人気を取り戻す可能性がある。

Aso-okeは本来色彩と風合いに富んだ織物である。現在の厳しい経営環境から、そうした特色を充分生かしてきていないが、Aso-okeが勢いを取り戻せば本来のバラエティーを復活させ、消費者に多様な商品を選択する機会を提供できることになる。

今後の市場においては、ニーズに合った商品をいかに短時間に大量に作れるかが、一つのポイントである。

Aso-okeへの人気復活すれば、機織職人が、伝統色を失わずに膨大な手作業を代替出来る技術や機械を導入し、より手触りがよく耐久性があり、家庭での洗濯にも耐える製品を素早く大量につくことも可能になると思われる。

### 課題

- 伝統色を失わず、市場ニーズに応じられる大量生産を実現する
- 伝統の技法・デザインを堅守する
- 織機その他、伝統的な設備の改良・効率化
- 伝統素材が常に入手できる供給・調達の仕組み作り
- より軽い生地の開発



### 将来の展望

市場シェア拡大のため、営業拡大が可能な地域に移転すると共に、自社および伝統織物業界の生産を効率化できる機械設備を導入したいと考えている。



# JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるかぎり正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。